



7月 園だより

令和8年7月
富田林市立錦郡幼稚園

ジメジメと蒸し暑い日が続いていますが、月日が経つのは早いもので、気がつくとも一学期最後の月を迎えます。

3歳児は、砂場での泥んこ遊び、新聞遊びや泡あそびなどを楽しんでいます。また、ミニトマトやキュウリなど栽培物に興味をもつ姿など、様々な活動を通して、教師や友達のしているいろいろなことに関心をもち、一緒に過ごすことに心地よさを感じています。泥んこ遊びでは、泥や砂、水が心地よく、足や手で触わり、気持ちを開放して楽しむ姿がありました。『とゆ』に何度も水を流したり、泥の水たまりにザブン！と入ったりすることを喜ぶ様子も見られ、それぞれが思い思いに試したり、友達と場を共有し、没頭して遊んでいました。「やってみたい」「おもしろい！」「これってどうなるのかなあ」と楽しんでいる遊びが、学びとなっています。3歳児のときからの学びが育ちとして積み重なり、小学校以降の学びにつながっています。

5歳児、4歳児は、花びらや素材を使った色水遊びから、「こんなにきれいな色ができた！」「もっと、やりたい」と水の量を考えたり、試したり、工夫する姿が多く見られました。作ったものを大切に作る姿もあります。泡遊びにおいても、教師は子どもが思いをもってつくった色水や泡を大切にできるように環境を整えて、遊びを進めています。泡が日を置くと固まることに気付き、予想していたことを確信する子どももありました。側面から見ていて、私も『おもしろいなあ』とワクワクしています。幼稚園では、子どもたちの主体性が育まれるように、子どもの姿から子どもではできないことを見極めて、そのことに対してできるような環境構成や援助を意識して保育をしています。教師は、温かく見守りながら、ときには子どもの気持ちや行動をそっと後押し、『できた！』という充実感や満足感、自信をもって遊びを楽しむ自己肯定感（自分を信じる力）を育てていきたいと思います。

今月も子どもたちの体調管理に気をつけながら、夏ならではの体験を取り入れ、楽しく元気に過ごしたいと考えています。

園長 石田 尚美

育てたいこと

- | | |
|-----|--|
| 3歳児 | ・ 野菜の生長や収穫を通して、身近な夏の自然に興味をもつ。
・ 夏ならではの遊びを通して、様々な感触を楽しむ。 |
| 4歳児 | ・ 教師や友達と夏ならではの遊びを思い切り楽しむ。
・ 自分の身の回りのことを自分でやろうとする。 |
| 5歳児 | ・ 自分らしさを発揮しながら、考えたり、表現したりして、遊びを楽しむ。
・ 身近な生き物、夏野菜に興味関心をもって世話をする。 |

7月生まれのおともだち

おたんじょうび おめでとう！

はな組、そら組のお友達が
います

8月生まれのおともだち

おたんじょうび おめでとう！

ほし組 はな組の
お友達がいます

